

旧北上川河口かわまちづくり かわまちづくりを推進 するためのポイント

子どもたちが誇れるふるさとのために

古くから川湊（かわみなと）として旧北上川を中心に栄えてきた石巻市は、東日本大震災で壊滅的な被害を受けました。石巻市街地を津波・高潮・洪水の被害から守るため、平成24年に旧北上川の堤防計画を策定。旧北上川の堤防整備と合わせて、市民の方々の集いの場、憩いの場となる水辺空間の整備を図ることを目的とし、地元の方々の意見を大切に事業を進めた。

まちづくりを推進するためのポイント

旧北上川の歴史、文化、社会的特性などを踏まえた検討。



昔の石巻



“かわど”と呼ばれる親水施設



現在も残る石積み護岸



整備イメージ

ポイント①

地元の方々の意見を大切に“丁寧な地域対応”を心掛けた。



地元の方々へ堤防等の整備内容をご理解いただくため、140回以上の説明会を開催し、ご理解を得た。

地元の方々のニーズを把握するため、さまざまな意見をうかがった。



ポイント②

VR（バーチャルリアリティ）を活用して
“誰にでもわかりやすい”整備イメージを推進。

ポイント③



VR（バーチャルリアリティ）を用いることにより、より現実的な整備イメージを実現。

ポイント④

地元で多彩な活動をしているの方々を中心とした“ミズベリング石巻”を立ち上げて、新たな水辺空間の利活用を実践。



新たな水辺空間利用の可能性を把握するため、社会実験として、カフェブースや物販ブースを出店した“みずべマルシェ in 北上川”を開催して、今後の利活用における課題点などの抽出を行った。